

平成 29 年 3 月期第 1 四半期決算  
カンファレンスコール要旨（開発パイプラインの進捗状況）

開発パイプラインの進捗状況については、決算短信の 16 ページから 21 ページに記載しており、今年 5 月 11 日の平成 28 年 3 月期決算発表以降の変更点について説明します。

■平成 28 年 3 月期決算発表（5 月 11 日）以降の進捗状況

1. 国内開発品の状況

（承認取得開発品）

カイプロリス（プロテアソーム阻害剤：多発性骨髄腫）

本年 7 月 4 日に多発性骨髄腫を対象に承認を取得しました。順調にいけば、60 日以内に薬価収載されるものと考えています。

（臨床試験中の開発品）

ONO-6950（ロイコトリエン受容体拮抗薬：気管支喘息）

これまで気管支喘息を対象に Phase II を国内外で実施していましたが、既存薬であるオノンとの比較などを行った結果、期待していた有効性が確認できなかったことから、開発を中止しました。

2. 国外開発品の状況

ONO-6950（ロイコトリエン受容体拮抗薬：気管支喘息）

上記の理由から、海外での開発も中止しました。

ONO-1266（S1P 受容体拮抗薬：門脈圧亢進症）

門脈圧亢進症を対象に Phase I を実施していましたが、新薬の登場により当初想定していた市場が見込めなくなったことから、門脈圧亢進症を対象とした開発については中止しました。

3. オブジーボの開発状況

（日本、韓国、台湾での開発状況）

- ・日本と台湾において頭頸部がんを対象に承認申請を行いました。

（欧米での開発状況）

- ・米国において血液がんの一つであるホジキンリンパ腫を対象として承認を取得しました。
- ・頭頸部がんを対象に、米国 FDA と欧州 EMA において承認申請が受理されました。
- ・欧米において多発性骨髄腫を対象とした Phase III を開始しました。
- ・欧米において胃食道接合部がんおよび食道がんを対象とした Phase III を開始しました。  
この試験は術後の再発予防を目的としたアジュバント療法の試験です。